

三鷹市立高山小学校 令和5年度【 体育 】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ○スマールステップの学習カードを活用することで、運動が苦手な児童も、安心して楽しく運動遊びに取り組むことができた。 ○友達の良い動きを見付けたり、真似をしたりすることで、称賛することで、技能が高まった。 ○友達と協力したり、話し合ったりできる活動を多く取り入れることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かすことを楽しく感じている児童が多く、意欲的に学習する児童が多い。 ○運動によって苦手意識のある児童もいる。 ○学習カードを活用し、よい動きをや動きのポイント・コツなどを共有し、意欲を高めながら学習を深めることができた。 ○固定遊具施設が少なく、多様な運動感覚を身に付けさせることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達同士で見合う時間も設け、一緒によい動きを考えながら学習を深める。その際にタブレットで撮影するなど、ICTの活用もしていく。 ○今後も学習カードを活用し、児童が見通しをもって取り組むことができるようにするとともに、振り返りをしたときに達成感を得られるようにする。 ○運動に苦手意識のある児童も楽しむことができるように、活動をスマールステップで設定し、個別指導もしていく。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の良い動きを見付けたり、考えたりしたことを伝える時間を設けてよい動きの共有をしたことで動きが広がっていった。タブレットなどICTを活用するのが低学年は難しかった。 ○運動の日常化につながるような運動遊びを準備運動のなかで帯で入れたことで休み時間も運動する姿が見られた。 ○学習カードを活用して、運動遊びを振り返りながら、思考力、判断力、表現力を見取る項目を作ったことで、全体で共有することが明確になり、思考面を深めることができた。 ○運動が苦手な児童へ、声掛けを増やしたことで運動が苦手な児童も楽しく運動することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育の授業に対して意欲的に取り組む児童が多い。 ○運動能力の偏りがある。 ○学習カードに記入する際に、具体的な記入方法を明確にすることができなかったため、めあてに対する振り返りができなかった。 ○ICTを活用し、動画を見せることによって動きのイメージをもたせることができた。 ○児童がICTを活用する授業展開ができなかったため、活用する方法を考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の苦手な児童に対しての配慮として、掲示物を充実させたり、タブレットなどICTを活用したりする。 ○準備運動の際に、主運動につながるような動きを取り入れて、次の動きのイメージを膨らませられるようにする。 ○学習カードの記入の際に、具体的な記入方法を明確化し、よりよい振り返りができるようにする。 ○運動が苦手な児童への個別指導を必ずしていく。運動好きな児童を増やしていく。 ○児童のICTの活用を充実させる為に、友達に動きを撮ってもらうなど活用していく。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ○運動の日常化につながるような運動遊びを準備運動のなかで帯で入れたことで、運動に関して、苦手意識のある児童も楽しく運動に取り組むことができた。 ○ICTを活用し、お互いに良い動きを写真や動画に撮り、共有することで、友達の動きのよいところやまねしたいところを見付け、自分の動きに生かそうとする姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動に関して意欲的に取り組んでいる児童が多い。 ○運動能力に偏りがある。 ○友達にアドバイスをし、協力して行おうとする児童が多い。 ○単元によっては学習に意欲的に取り組むことができない児童がいる。 ○チームで話し合いを行う活動機会が少ないため、作戦などを考える時間が足りなかったり、話し合いが進まなかったりすることが多い。 ○ICTを活用した授業展開ができなかったため、活用方法を考えて取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用し、お互いに良い動きを写真や動画に撮り、共有することで運動技能を高める。 ○主運動につながる補助運動を毎回の授業で行い、運動を楽しく行えるように工夫する。 ○学習カードを活用し、活動内容や運動の工夫、得た技能など考えたことを記録して、友達との意見の交換・共有などをし、思考力、判断力、表現力を身に付けるために役立てていく。 ○チームで話し合う時間を設定し、話し合い活動の際には、話し合いのポイントを明確にし、学びを深められるようにする。
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ○学習カードを活用して、運動遊びを振り返りながら、思考力、判断力、表現力が身に付くような項目を作ったり、全体で共有できるような時間を授業の中で入れたことで、運動に意欲的に取り組む児童が増えた。 ○話し合いの時間を増やしたり、ICTを活用したりしたことで、いつでもお互いの動きを確認できた。また、お互いの動きを見て高め合うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動に関しては意欲的に取り組んでいる児童が多い。 ○準備・片付けなど流れを理解できていれば、素早く行動に移すことができる。 ○技能のポイントを意識して活動できる児童が多いが、実際に体を動かすことができる児童は半数程度である。 ○お互いの動きを見て高めあう様子は半数程度みられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、準備から片付けまでの流れを説明し、自主的に動くことができるように指導していく。また、素早くできたら十分に価値付けていく。 ○引き続き、学習カードを用いて技能のポイントを伝えて、児童が意識しながら学習に取り組めるようにする。 ○技能が習得できるようにスマールステップで指導を行っていく。 ○お互いの動きを見て高めあう力を育成するために、話し合いの時間を増やしたり、ICTを活用したりいつでもお互いの動きを確認できるようにしていく。
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ○運動が苦手な児童への個別指導を深めたことで、運動好きな児童が増えた。 ○ICTを活用し、動きの動画を見せたり、タブレットを活用し、自分の動きをフィードバックしたりすることで技能ポイントについて、自分の目標を設定することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1学期は運動会や体力テストが中心となり、体育的な学習活動が少なかった。その中でもタブレットを活用し、模範の動きを確認しながら動きを高めることができた。 ○児童同士で動画を撮り、自分たちの動きを振り返ることができた。振り返った動きをもとに自分の目標を工夫できた。 ○動画撮影の技能に差があり、ポイントとなる動きの改善につながっていないことがあった。 ○毎時間振り返りを共有し、技能ポイントについて気付き、動きの改善を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレットを活用し、自分の動きをフィードバックすることで技能ポイントについて自分の目標を設定しながらできた。 ○動画の撮影の際にどこを撮ると自分の動きの改善につながるか考えながら撮影できるようにする必要がある。 ○学習カードを毎時間記入させ、共有することで、単元を通じて自分の振り返りが並ぶだけでなく、友達の考えと比較しながら自分の課題や成果に気付くことができた。
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ○学習カードを工夫することで、振り返りの際めあてやチームの課題に対しての考えをもてた。 ○毎時間の始めに前時の振り返りをするので、つながりのある学習にすることができた。 ○ICTを活用し、友達の良い動きやモデルとなる動きを見たり、自分の動きを動画に撮ったりすることで、自分自身の動きを客観的に捉えることで体力向上につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○準備・片付け・整列など、基本的な授業の流れを理解し、素早く行動できる児童が多い。 ○運動に対しては概ね意欲的に取り組んでいる。 ○単元や本時のめあてを理解し、その達成に向けて努力する姿が見られる。 ○お互いに気付いたことを伝え合い、技能を高め合う様子がみられるが、全児童の半数程度である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き準備・片付け、集合・整列について指導し、できたことを十分に価値付けていく。 ○チーム内での話し合いの時間を確保し、学び合いを習慣付けていく。 ○単元や授業の初めに目指す姿を明確に示し、個人のめあてを立てた状態で活動に取り組ませる。また、授業後の振り返りも十分に行い次時の活動へ生かす習慣を身に付けさせる。 ○学習カードを有効に活用し、思考を表現する場を設ける。○学習カードを工夫し、振り返りの際めあてやチームの課題に対しての考えをもてるようにする。 ○ICTを活用し、友達の良い動きやモデルとなる動きを見たり、自分の動きを動画にとったりすることで運動技能を高める。